

宇和島ハワイアン化計画

宇和島 Hawaiian
フェスティバル
実行委員会

鈴木 貴志・美幸



●東京からハワイ、宇和島へ

私達夫婦は7年前に、東京から宇和島に（妻・美幸の実家）移住することを決めました。そして、移住前にどこか旅行に行つて生活改善しようと、多数の候補地を検討しました。まず、なぜ生活改善かというと、当時の私達は、仕事の激務に追われ、慌ただしい東京生活の中、二人とも喫煙者で、不健康そのものの生活でした。また、趣味も、忙しさのあまり、食べ歩きや、飲酒（夫・貴志のみ）くらいといった、心や時間に余裕がありませんでした。都会の金銭的にはゆとりのある生活も、それなりに楽しかったの

ですが、日々追われているような生活で心に余裕がなくなっていました。そこで、結婚を機に、心にゆとりのある生活を楽しめるように自分たちを変えようと、宇和島に移住を決意しました。そこで、宇和島に帰る前に、生活改善の意味も込めて、旅行を検討したのです。今思えば、運命に導かれるような感じですが、当時は軽い気持ちで、環境もいしハワイにしようと決めました。

そのハワイでの滞在中にカラカウア通りで環太平洋地方のお祭りのイベントがありました。通りを通行止めにして、パレードが行われていました。イベントも終わりに近づき、座って見ていると、なんと通りの向こうから宇和島の牛鬼が2体練つてこちらに向かってくるではありませんか。日本人も外国人の観客も大興奮でしたが、宇和島出身の美幸はもつと大興奮です。そして、なぜ牛鬼が来ているのか？という疑問から、姉妹都市、えひめ丸の事故と、繋がっていきました。

●宇和島での生活

ハワイでの滞在時にハワイの文化に触れ、まず美幸がフラに出会い、体験しました。また、ハワイの音楽、文化、景色と私達はどんどんハワイに魅了されていきました。今までの短い旅行ではなかった感覚がそこにはあり、帰国時には見た目もすっかりハワイの現地の人の



ようになっていました（笑）。そして、帰国し宇和島の生活をスタートさせた私達は、宇和島のハワイのような空気感や駅前のヤシの木、姉妹都市である事、えひめ丸の事故、何よりハワイでの滞在経験など、ひとつの確かな繋がりが生まれてきました。そして、それが生まれるのには時間がかかりませんでした。『宇和島ハワイアン化計画』です。当時は夢物語だと思つて考えていた計画を、某新聞のコラムで書いたのですが、今見返してみると、なんと、そのほとんどが怖いくらいに現実になっています。その一つが、現在の私たちのお店「Hawaiian Cafe&Bar LOCO」、妻・美幸の「フラ教室の開講」、そして今年で6回目の開催を終えた『宇和島Hawaiianフェスティバル』です。

●えひめ丸の事故から10年目に

私たちが実家のお好み焼き屋さんの中に「Hawaiian Cafe&Bar LOCO」として、ハワイアンな料理や服・雑貨などの

を防ぐために何か出来る事がないのか？
悲しい事故ではあったけど、未来志向で
ハワイとの関係が続けることが出来ない
のか？そこから、『宇和島Hawaiian
フェスティバル』が産声を上げました。
私たちがハワイで出会った牛鬼からえひ
め丸の事故へと繋がったように、『宇
和島Hawaiianフェスティバル』からも
繋がるのではないだろうか。そんな思
いから、えひめ丸の事故から10年目の
2011年の7月に第一回の『宇和島
Hawaiian フェスティバル』を開催する
ことが出来ました。それから多くの方々
のご協力により、今年の6月の開催で6
回目となり、少しずつ認識され、全国各
地から出店者や出演者が来ていただけ
るようになりました。また、2014年
には、愛媛県とハワイ州の姉妹州締結10
周年記念でホノルルを訪れた際に、『宇
和島Hawaiianフェスティバル in Hawaii』



販売をスター
トしてから、
えひめ丸の遺
族の方のお話
しの中で、事
故から10年
経ったが、事
故が風化され
ていくのが寂
しいと伺いま
した。私たち
に事故の風化

としてホノルルのロイヤルハワイアン
ショッピングセンターのステージでイベ
ントを開催することも出来ました。

●今後の『宇和島ハワイアン化計画』

『宇和島Hawaiianフェスティバル』
の開催理念は、えひめ丸の事故を忘れない
事、宇和島とホノルル市の姉妹都市の
関係強化、そして宇和島を元気にする事
です。私たちがハワイで出会った牛鬼の
ように、なぜ宇和島でハワイなの？と多



くの方々に関心を持ってもらう事、フラ
やウクレレを通じて知ってもらう事、そ
の計画こそが、今の私たちの新しい『宇
和島ハワイアン化計画』です。また、事
故から15年が経過し、実際に事故当時の
記憶がない世代が多くなることで、今後
の課題として、若い世代への引き継ぎ、
巻き込んでいくことが、必要不可欠だ
と思っています。

また開催テーマが「笑顔のために」。
このテーマを決める時には、なぜか簡単
に決まりました。私達夫婦は接客サービ
ス業が長かったこともあり、イベントは
「人」に向けてするもの、そこには「笑
顔」が大切です。基本となるこの考えが
あったからです。そこで、お客様、出演
者、関係者の方々、スタッフ、すべての
人々の「笑顔のため」になるようなイベ
ントに、育てていく事を目指す事に繋が
りました。

そして、『宇和島ハワイアン化計画』
の現在の軸である『宇和島Hawaiian
フェスティバル』を更により良いイベ
ントにして、宇和島に多くの人々に来て
いただきたいです。また、ハワイで行った
ように、宇和島以外でも宇和島アピール
のために、『宇和島Hawaiianフェスティ
バル』が開催出来たらと考えています。
そして、ボランティア活動等、様々なハ
ワイアン活動を行い、また新たな『宇
和島ハワイアン化計画』から実行、実現
へと続け、繋げていきたいと思っています。